

(別紙1)

事業報告書

事業名	①第34期レクリエーション・インストラクター養成講座 ②レク支援フォローアップ事業
申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附（分野）
事業実施期間	①令和7年9月～令和8年3月:上記期間中対面講座全5回+補講+審査会 ②令和7年4月～令和8年3月
事業内容	<p>①「健康づくりと生きる喜びづくり」を支援する 公益財団法人 日本レクリエーション協会公認のレクリエーション・インストラクターを養成することを目的として子どもから高齢者などあらゆる対象や場面において、県民に多種多様なレクリエーション支援活動ができる人材を養成。</p> <p>公益財団法人日本レクリエーション協会公認資格レクリエーション・インストラクター養成カリキュラムに準じた理論と実技を含む合計60時間の講座。受講を希望される方々の負担軽減のため導入したオンライン講座も引き続き実施。</p> <p>全講座を受講すると、レクリエーション・インストラクター資格取得に必要なカリキュラムが全て履修できる内容で、希望者は資格取得も可能。様々な場面で対象者を支援するためのレクリエーション財を幅広く体験するとともに、その指導（支援）技術を学ぶことができる。</p> <p>②各種講習や勉強会を開催。広くレクリエーション支援と活動の普及振興を図ることを目的とする。</p> <p>レクリエーションと生涯スポーツの普及振興およびレクリエーション有資格者のスキルアップをはかるため、講習会、交流会、勉強会等の開催、打ち合わせ・検討会議を実施。</p>
事業実施の果効	<p>①全日程を無事に開催することが出来た。レクリエーション活動や支援者としての手段や方法を学んでいただき、広く県民の活動サポートの一助となるレクリエーション支援者の認知度を高め、レク・インストラクター資格の取得とそのつながりに寄与できるよう尽力した。</p> <p>県内各地から行政関係の方や社協関係の方の受講があり、各市町・地域で県民のための活動を実践する場を提供することが出来る人材の育成につながった。レクリエーション・生涯スポーツ・福祉レクリエーションの普及振興を図ることが出来た。</p> <p>②レクリエーションの普及と県内各市町・地域で支援者として活動する有資格者のスキルアップ・フォローアップのため講習会や勉強会を計画・開催。本部講師を招いた講習会や若手人材育成などの新しいアプローチでブラッシュアップした。今後も継続出来るよう引き続き計画・検討する。</p>
備考	(今年度は概算払仮払申請・今年度残分は令和8年度に繰り越し希望)

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

### 事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
	<p>① 第34期レクリエーション・インストラクター養成講座</p> <p>2025年 4月 事業計画(チラシ作成)・講座内容詳細検討 講座内容と担当者決定</p> <p>6月 募集開始(県内各所へ周知・チラシ配布・SNS等)</p> <p>8月 講座開始(オンライン+対面月1回:全5回) 対面講座はサンポートホール高松会議室にて実施</p> <p>2025年9月~2026年3月初旬 期間中補講・現場実習・審査会実施</p>	<p>協会役員 実行委員</p> <p>県民 近隣県民等</p> <p>受講申込者</p> <p>受講申込者 協会役員</p>	10人
	<p>② レクリエーション支援フォローアップ事業</p> <p>2025年 4月 内容について計画、検討 スタッフ打ち合わせ チラシ作成</p> <p>6月 募集開始(県内各所へ周知・チラシ配布・SNS等)</p> <p>2025年7月~2026年3月初旬 事業実施</p>	<p>協会役員 実行委員</p> <p>県民 近隣県民等</p> <p>県民 近隣県民 申込者</p>	10人

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

## 収 支 精 算 書

(単位：円)

### 【収入】

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★ 528,773	
自己資金計	25,295	①+②+③+④
①参加料収入		
②会費等		
③寄附金等		
④その他	25,295	謝金源泉税(預り金)25,295
その他助成金等収入計		①+②+③
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他		
その他資金収入	0	
合 計	554,068	

(注)その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

### 【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
賃借料及び使用料	60,350	60,350	①会場・会場設備使用料 57,650 ②会場・会場設備使用料 2,700
会議費	15,000	15,000	①事業対策検討会議 15,000
報償費 (人件費・謝金)	222,500	222,500	①講座講師スタッフ謝金 222,500
消耗品費 (消耗品・材料費)	53,368	53,368	①事業・講座用事務用品等 36,922 ②事業・講座用事務用品等 16,446
保険料	2,311	2,311	①事業イベント傷害保険料 2,311
通信運搬費	25,640	25,640	①事業用郵便・配送料 25,640
旅費交通費	108,954	108,954	①講師・スタッフ交通費等 82,194 ②講師・スタッフ交通費等 26,760
雑費	65,945	40,650	①振込手数料・会場駐車場代 40,650 謝金源泉税 25,295
合 計	✓ 554,068	★ 528,773	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。